



2026 年 8 月 17 日

World Para Swimming 公認 2026 ジャパンパラ水泳競技大会 開催要項

- 1 目的 国際競技規則を適用したレベルの高い競技会を、競技団体と共に開催することによって、パラスポーツの認知度を上げ、障がい者の広い社会参加を促進すること。並びに日本における水泳競技の競技力の向上を通じて、同競技の普及拡大を図ることを目指し、活力ある共生社会の創造に繋げていくことを目的とする。
- 2 主催 公益財団法人日本パラスポーツ協会(以下「JPSA」という。)
- 3 共催 一般社団法人日本パラ水泳連盟(以下「パラ水連」という。)
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟(以下「知的水連」という。)
一般社団法人日本デフ水泳協会(以下「デフ水協」という。)
- 4 主管 一般社団法人神奈川県水泳連盟
- 5 後援 スポーツ庁 神奈川県 横浜市 横浜市教育局 公益財団法人日本スポーツ協会
公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本水泳連盟
一般社団法人日本マスターズ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 全国聾学校体育連盟
公益財団法人神奈川県スポーツ協会 公益財団法人横浜市スポーツ協会
公益財団法人神奈川県身体障害者連合会 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
- 6 協力 NPO 法人横浜市パラスポーツ指導者協議会
- 7 日程 2026 年 9 月 19 日(土)～21 日(月・祝) (同月 18 日(金)公式練習、クラス分け)
- 8 会場 横浜国際プール(神奈川県横浜市都筑区北山田 7-3-1 電話番号:045-592-0453)
<https://yokohama-sport.jp/waterarena/>
- 9 競技方法
各クラスの出場予定者が 8 名以下の場合でも予選を実施する。予選は、クラスを分けずにエントリータイム順に組分けを行う。決勝には、同クラスの予選上位 8 位までの者が出場できる。
- 10 実施種目 別紙「実施種目及び標準記録一覧表」による。
- 11 競技順序 ※競技時間については、2 次要項等で周知する。

9 月 19 日(土) 大会 第 1 日目

午前の部(予選)

- 1 女子 200m 自由形
- 2 男子 200m 自由形
- 3 女子 50m バタフライ
- 4 男子 50m バタフライ
- 5 女子 100m 背泳ぎ

午後の部(決勝)

- 9 女子 200m 自由形
- 10 男子 200m 自由形
- 11 女子 50m バタフライ
- 12 男子 50m バタフライ
- 13 女子 100m 背泳ぎ

6 男子 100m 背泳ぎ	14 男子 100m 背泳ぎ
7 女子 400m 自由形	15 女子 400m 自由形
8 男子 400m 自由形	16 男子 400m 自由形
9月20日(日) 大会 第2日目	
午前の部(予選)	午後の部(決勝)
17 女子 100m 平泳ぎ	25 女子 100m 平泳ぎ
18 男子 100m 平泳ぎ	26 男子 100m 平泳ぎ
19 女子 150m 個人メドレー	27 女子 150m 個人メドレー
20 男子 150m 個人メドレー	28 男子 150m 個人メドレー
21 女子 200m 個人メドレー	29 女子 200m 個人メドレー
22 男子 200m 個人メドレー	30 男子 200m 個人メドレー
23 女子 100m 自由形	31 女子 100m 自由形
24 男子 100m 自由形	32 男子 100m 自由形
9月21日(月・祝) 大会 第3日目	
午前の部(予選)	午後の部(決勝)
33 女子 100m バタフライ	41 女子 100m バタフライ
34 男子 100m バタフライ	42 男子 100m バタフライ
35 女子 50m 平泳ぎ	43 女子 50m 平泳ぎ
36 男子 50m 平泳ぎ	44 男子 50m 平泳ぎ
37 女子 50m 背泳ぎ	45 女子 50m 背泳ぎ
38 男子 50m 背泳ぎ	46 男子 50m 背泳ぎ
39 女子 50m 自由形	47 女子 50m 自由形
40 男子 50m 自由形	48 男子 50m 自由形

※競技時間については、2 次要項等で周知する。

12 競技規則

S1～S14 は WPS(World Para Swimming：世界パラ水泳連盟)競泳競技規則による。

S15 は、World Aquatics(世界水泳連盟)に準拠した(公財)日本水泳連盟 競泳競技規則による。

S21 は、パラ水連競技規則による

13 参加資格・制限

別紙、競技団体別「参加資格・制限」による。

14 申込規定

この大会の申し込みは、エントリープラス方式で行う。

(1) 申込先:エントリープラス(ファーストトレード株式会社)経由で、JPSA・パラ水連への申込みとする。

<https://entryplus.jp/event.html?ID=qBJKyb>

(2) 問合せ:下記の E-mail または FAX にて問い合わせること。

E-mail:jp_swimming@japanpara.com

FAX:078-855-8180(ジャパンパラ水泳競技大会担当)

(3) 参加費:1人1種目 2,000 円

参加費の納入はエントリープラス入力時に、振込み手続きをする。また、納入された参加費は、主催者の責による事由で大会を中止した場合以外、原則として返金しない。

(4) 申込期限:2026 年 7 月 12 日(日)23:59 ※締め切り後の追加申込・変更等は受け付けない。

(5) その他

参加申込にあたっては、別紙「大会参加誓約内容」に同意したうえでの申込みとすること。

エントリープラスでの申込ができない場合は、各個人の登録競技団体に申出て、別途申込み対応を行うこと(上記、申込期限締め切り後の申し込みは受け付けない)。

参加決定については、審査終了次第通知する。おおむね 8 月中旬ごろを予定。

15 クラス分け

(1) パラ水連登録の肢体不自由の選手

クラスステイタス「L」、「LR」、「LR 西暦」の競技者は、クラス分けを受けなければならない。「JR2026」以前の選手は枠があれば受検できる。クラス分け評価を受けるためには、事前に障害についての診断書類などを提出しなければならない。また、評価に必要な本競技会における 100m の S 種目(自由形、背泳ぎまたはバタフライ)と SB 種目(SB1~3 は、50m 平泳ぎ、SB4~9 は 100m 平泳ぎ)に出場(クラス分け評価の一つ)することが条件となる。その理解の上で、競技会前日の 9 月 18 日(金)にクラス分け評価を受けることができる。クラス分けに必要な書類などについてはパラ水連の HP を参照すること。なお、クラス分け評価の実施数には制限があり、希望者が多い場合にはクラス分け評価を受けることができない場合がある。その場合、競技会には参加できない。クラス分け評価の希望者には、エントリー締め切り後、クラス分け評価参加の可否と合わせて詳細を連絡する。

「L」については申込できない。

(2) パラ水連登録の視覚障害の選手

クラスステイタス「L」、「LR」、「LR 西暦」、「JR」、「JR2026 以前」の競技者は、エントリーまでに全国レベルのクラス分け評価を完了していなければならない。(2026J-FCS クラス分け規則に基づく)

16 ドーピング検査(以下、JADA からの注意喚起文による)

(1)本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。

(2)本競技会参加者(18 歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。

18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

(3)本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出してください。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

(4)本競技会が国内最高レベルの競技大会に該当し、禁止物質・禁止方法を使用して治療を行う競技者に限り、競技会 30 日前までに治療使用特例(TUE)を取得してください。競技会及び TUE が必要か否かは、以下の手続きに沿って確認してください。

①自身が使用している治療薬が禁止物質・禁止方法(<https://www.realchampion.jp/what/health/about/>)に該当するかを確認してください。

②当該競技会が、国内最高レベルの競技大会一覧(<https://www.playtruejapan.org/code/tue.html>)に掲載されているかを確認してください。

③治療使用特例(TUE)の手続き(<https://www.realchampion.jp/what/health/tue/>)を確認し、期限までに提出してください。

(5)本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。

(6)競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 1 時間の

安静が必要となるので留意してください。

(7)日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認してください。

17 表彰・記録証

- (1) 男女別種目別に 1 位、2 位及び 3 位の選手にメダルを授与し、表彰する。ただし、決勝進出者が 2 名の種目は 1 位のみ、3 名の種目は 2 位までにメダルを授与し、表彰する。
- (2) 完泳者に記録証を発行する。記録証は、希望者に大会期間中のみ発行する(記録証の後日の郵送は行なわない)。

18 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び水泳競技に必要な連絡等に利用する。

19 傷害保険への加入について

主催者において期間中(2026 年 9 月 18 日～21 日)の傷害保険に一括加入する(保険内容:死亡・後遺障害 1,000 万円、入院 5,000 円、通院 3,000 円)。これ以上の補償を望む場合には、各自で別途保険に加入すること。会場における事故等については応急処置のみとし、その他の責任は負わない。なお、参加にあたっては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意すること。

20 競技に関する情報

- (1) 本大会は WPS 承認プラス大会として実施する。
- (2) WPS ライセンス登録及び国際クラス分けが終了している選手の記録は WPS 公認記録となる。
- (3) 本大会の水着に関する規程は、原則としてすべて World Aquatics 及び WPS の競技規則による。
- (4) プール内の室温は 28 度位、水温 28 度位、プールの水深は 2.5m とする。
- (5) 競技会場での練習は、二次要項にて連絡する。
- (6) 受付時間は次のとおりとする。(予定)

9 月 18 日(金)	12:30～	1階	選手受付
9 月 19 日(土)・20 日(日)	8:15～	1階	選手受付
9 月 21 日(月・祝)	7:45～	1階	選手受付
- (7) 本大会の予選について、選手の名前やレーンは、事前に大会ホームページへの掲載を行なう。決勝については予選終了後に選手の名前やレーンなどを、大会ホームページへの掲載を行なう(予定)。
- (8) 招集は、競技予定時刻の 15 分前までに行う。棄権は原則医学的理由以外に認められない。予選を棄権する場合は、招集時間の 1 時間前までに、決勝を棄権する場合は予選終了後 1 時間以内に、それぞれ招集所に届けること。また、他の種目出場等の理由により、招集時間に間に合わない場合も必ず届け出ること。
- (9) 手話通訳者は、競技中は招集所付近に配置し、通訳は適宜行う。
- (10) 本大会の記録、名前、特記事項などは、当協会及び各連盟・協会ホームページなどに掲載する。

21 大会開催可否判断等について

荒天・災害等(地震、風水害その他の災害、事故等)により大会の開催が困難となった場合は、「ジャパンパラ競技大会危機管理マニュアル」に基づき、主催者が大会の開催可否及び運営方法を総合的に判断します。大会を中止または内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

緊急時は大会役員及び会場係員の指示に従って行動してください。

22 その他

- (1) 本大会の成績は、今後の強化活動等の参考資料とする。
- (2) 会場の駐車場(有料)は、台数に限りがあるので原則公共交通機関にて来場すること。
最寄り駅である、横浜市営地下鉄北山田駅からシャトルバスを運行する(予定)。
- (3) 参加者・参加役員等を対象に、キッズルーム(有料)を設置いたします。託児を受ける対象は、普通食の摂れる未就学児および小学生となります。託児を希望される方は、別途案内する申込(20 その他(8)のホームページに情報掲載予定)より申し込みを行うこと。申し込みをされた方に、実施の詳細を連絡する。
- (4) 大会参加にあたり宿泊を希望する場合は、各自で手配を行う。
- (5) 大会は有観客で開催の予定です。
- (6) ジャパンパラ競技大会ホームページ等で最新情報の確認をすること。大会要項・開催内容を変更する可能性があることも留意すること。
- (7) 問い合わせは下記とする。問い合わせの題名は「2026JPSW(問合せ内容)」とすること。
 - ① 参加申込関係 E-Mail:jp.swimming@japanpara.com
 - ② 競技関係(各自登録している団体へ問い合わせること)※ 各連盟・協会からの注意事項をホームページ等でよく確認すること

パラ水連	FAX:078-855-6685 (ジャパンパラ競技大会担当)
知的水連	E-mail:mousikomi@jsfpid.com
	FAX:03-6229-5420 (ジャパンパラ競技大会担当)
デフ水協	E-mail:shinobooshizuoka@nifty.com(ジャパンパラ競技大会担当)

 - ③ その他
日本パラスポーツ協会 企画広報部 ジャパンパラ運営事務局
E-mail:taikai-jpsa@parasports.or.jp (担当:小島・原・加納)
- (8) 発表内容について変更がある場合は以下のホームページで公表するので、各自確認すること。
<https://www.parasports.or.jp/japanpara/swimming/>

23 JPSA オフィシャルパートナー

日本航空株式会社 株式会社田中貴金属グループ 東京ガス株式会社 中外製薬株式会社 三菱商事株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 三菱電機株式会社 サントリーホールディングス株式会社
大同生命保険株式会社 株式会社ゴールドウイン 東日本旅客鉄道株式会社 東京建物株式会社
清水建設株式会社 全日本空輸株式会社 東京海上日動火災保険株式会社
野村不動産ホールディングス株式会社 三菱ケミカル株式会社 株式会社日清製粉グループ本社
イオン株式会社 富士通株式会社 NTT 株式会社 電源開発株式会社 三菱地所株式会社 株式会社関電工
ENEOS ホールディングス株式会社 東急リバブル株式会社 株式会社INPEX 株式会社アシックス
サイボウズ株式会社 株式会社読売新聞東京本社 株式会社JTB 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

24 JPSA オフィシャルサポーター

トラスコ中山株式会社 ディエスヴィ・コントラクトロジスティクス株式会社 株式会社富士住建
株式会社グロリアアツアーズ 大塚製薬株式会社

以上